

全国瞬時警報システム（J-ALERT）の運用開始について

1 システムの概要

全国瞬時警報システム（以下「J-ALERT」という。）は、人工衛星を利用して、緊急地震速報、津波予報及び国民保護情報などの緊急情報を国民に迅速に伝達することを目的として、平成19年から国が地方公共団体に配信を開始したものである。（J-ALERTの概念図は裏面のとおりに）

2 導入までの経緯

総務省消防庁では、J-ALERT導入促進のための区市町村への補助制度とともに、従来の警報時の固定音声に加え、多様な警報音声放送を可能にするため、J-ALERTの高度化を図ったところであるが、高度化に必要な国のソフトウェア開発の遅れにより、区での導入が遅れていたところである。

その後、ソフトウェアの開発終了に伴い、区では、J-ALERTの運用に必要な機器整備を行い、来年度からの運用が可能となった。

3 運用開始年月日

平成23年5月1日

4 今後の対応

- (1) 広報かつしか・区ホームページによる区民等への周知
- (2) 鳴動訓練の実施
- (3) 休日・夜間対応及び警報受信時庁内放送マニュアルの整備（現行マニュアルの一部改訂）
- (4) 区有施設職員用対応マニュアルの整備（地区センター、学校等）
- (5) 小・中学校等における各施設放送設備への接続方法等の検討

全国瞬時警報システム(J-ALERT)

